<概要>

- 4月6日～9日にかけて首都テグシガルパにて、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）関連会合開催された。9日の首脳会合では共同宣言の合意には至らなかった。
- 4月8日、選挙管理委員会（CNE）は、3月9日に実施された予備選挙の最終結果を発表し、リブレ党モンカダ候補、国民党アスフラ候補、自由党ナスラ候補が各党の大統領候補として選出されたことを正式に発表した。それ以外の国会議員、市長候補などは今後随時発表するとのことであった。
- 4月14日、訪日中のレイナ外務・国際協力大臣は、岩屋外務大臣と会談を行った。
- 4月23日、エラソ保健省次官は、ラセンウジバエによる国内死者が確認されたことを明らかにした。また、保健省はこれまで国内でラセンウジバエの人体への感染が27例発生し、内3例が死に至っていると発表した。

<本文>

1 外交

（1）テグシガルパにおける CELAC 首脳会合

4月6日～9日にかけて首都テグシガルパにて、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）関連会合が開催された（6～7日調整者会合、8日外相会合、9日首脳会合）。9日の首脳会合における共同宣言採択で議長を務めたカストロ大統領が「我々は宣言の8項目について合意はあったと考える」と述べて共同宣言への合意に拍手で承認を促したことに對し、パラグアイ、アルゼンチン代表から全会一致原則に反する今回の宣言の採択は認められない旨抗議が起こった。またニカラグアからも文書案を巡って異議が出され合意には至らなかった。

（2）レイナ外相訪日と岩屋外相との会談

4月14日、訪日中のレイナ外務・国際協力大臣は、岩屋外務大臣と会談を行った。会談後、レイナ外相は、自身のXポストで「日本とホンジュラスの90年の二国間関係と互惠、ならびにインフラ、健康、教育、開発、文化分野などカストロ政権にとって重要な協力について話し合った」と外相会談等の成果を発信した。

（3）カストロ大統領によるエクアドルとの関係再構築指示

4月15日、カストロ大統領は自身のXポストを通じ、ダニエル・ノボア大統領が勝利した今般のエクアドル大統領選挙結果を踏まえ、レイナ外務・国際協力大臣に対し同国と関係改善を図るよう指示を出した旨発信した。

(4) カストロ大統領らの教皇フランシスコ葬儀参列

4月23日、カストロ大統領は、教皇フランシスコ葬儀参列のためレイナ外相、セラヤ大統領私設秘書官らを伴いバチカンを訪問した。

(5) 在ホンジュラス・ロシア大使館の設置

4月28日、トーレス外務国際協力省筆頭次官は、自身のXポストを通じ、ロシアがホンジュラスに大使館を開設する旨発信した。

2 内政・経済

(1) 大統領・総選挙予備選挙結果

4月8日、選挙管理委員会(CNE)は、3月9日に実施された予備選挙の最終結果を発表し、リブレ党モンカダ候補、国民党アスフラ候補、自由党ナスララ候補が各党の大統領候補として選出されたことを正式に発表した。今回の予備選挙は与党リブレ党、国民党、自由党の3党で実施され、本年11月の総選挙に向け、各党が大統領・副大統領候補、市長候補、国会議員候補、各党党首含む執行部を選出するものであるが、今般の結果発表では、大統領候補のみが発表され、国会議員及び市長等については後日発表されることとなった。

(2) 大阪・関西万博におけるホンジュラス・ブースの紹介

4月14日、政府広報紙「民衆の力」は、大阪・関西万博のホンジュラス・パビリオンについて、ホンジュラスのマヤ遺跡をバーチャルリアリティーや3Dといった革新的技術によって、ホンジュラスの1000年の歴史に没入できるようになっていることや、ブースでは世界的に品質が高く評価されているホンジュラス・コーヒーの試飲が好評であることを伝えた。

(3) ラセンウジバエの人体への感染

4月23日にエラソ保健省次官は、ラセンウジバエによる国内死者が確認されたことを明らかにした。死亡したのは、首都テグシガルパ出身の40歳男性で、ラセンウジバエによって引き起こされる皮膚蝸牛症と診断されたが、後に敗血症を発症し死亡した。28日にはベラスケス保健省人獣共通感染症プログラム課長が、これまで国内でラセンウジバエの人体への感染が27例発生し、内3例が死に至っていると発表した。ホンジュラス国内では、これまでアトランティダ県、グラシアスアディオス県、ラパス県、オコテペケ県、ジョロ県、コルテス県、オランチョ県、チョルテカ県、エルパライソ県で人体への感染例が報告されている。農牧省は、同省のガイドラインに従い、皮膚に傷が確認された場合は、当局に申告し検査を受けるよう特別の注意喚起を行っている。

(4) 全国的投資詐欺事件

4月23日早朝、当国検察は、以前から詐欺の疑いがあった投資会社コリウン (Koriun) 社の家宅捜索を実施した。同社は、当国北部コルテス県チョロマ市内をはじめ全国6か所 (ダンリ市、チョルテカ市、フティカルパ市、サンタ・ロサ・デ・コパン市) に事業拠点を有していた。コリウン社は2024年に3万5千人から約8,690万レンピーラ (約330米万ドル) を集めていることを明らかにしていたが、今回の検察の家宅捜索によって、全国のコリウン社本支店と登記上の会社代表の自宅及び70以上の銀行口座等で約4.3億レンピーラ (約1,600万ドル) を所有していることが確認された。これらを検察が押収しようとしたが、返金を求める大勢の出資者による抗議活動が発生し、興奮した一部の出資者によって検察車両が横転させられ、居合わせたメディアに対し暴力行為を働く等騒動に発展したため、検察側が押収を断念し、同社に対し出資者に返金するよう要請して引き上げた。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2024年	2025年		
		1月	2月	3月
インフレ率 (前年同月比)	3.9	3.9	—	—
貿易収支 (百万ドル)	▲6,671.4	—	—	—
輸出 (百万ドル)	11,082.5	—	—	—
輸入 (百万ドル)	17,753.9	—	—	—
外貨準備高 (百万ドル)	8,049.0	7,962.6	8,304.4	—
外国からの送金 (百万ドル)	9,510.2	—	—	—
為替レート (対ドル月平均)	25.42	25.56	25.68	—

(出典：ホンジュラス中央銀行)

(了)